

2021年度 道央審判トレーニングセンター第1回アクティブ研修（強化）事業報告

開催日 : 2021年7月4日（日）
会場 : 小樽市望洋サッカー・ラグビー場
大会 : 第13回全道ミドルサッカー選手権大会
参加INS: 森宏介 南昭吉氏 吉村充氏
参加審判: 長谷川真啓氏（S2） 戸井建氏（S3）



7月4日（日）小樽市望洋サッカー・ラグビー場にて今年度の道央審判トレセン強化事業1回目の研修会を行いました。2級試験のリフレッシュ研修と次年度以降に2級上申を目指す研修として2名の審判員、3名のインストラクター、1名のオブザーバー（SI3）が参加しました。

全道ミドルサッカー選手権のゲームを対象として研修を行いました。第1試合の振り返りではゴールキックやフリーキックのポジショニングについてディスカッションが行われ、審判員同士良い情報共有ができたと思います。第2試合では映像分析を行い、判定基準について振り返り客観的に自分のレフリングを見直すことができました。



講義では3級審判員と2級審判員の目標の違い、対角線式審判法について、またゲームコントロールで意識することをテーマに研修を行いました。講義後の第3試合は強化指定審判員が担当する試合を見ながら対角線式審判法とゲームコントロールなど学んだことを確認しました。

コロナ禍のため少人数で短時間の振り返り、マスクの着用を徹底した研修となりました。まだのびのびとサッカーができる状況ではありませんが、サッカーができることに喜びを感じることができる1日となりました。

しばらくは今回のような少人数での研修になるかとは思いますが強化事業の研修を続け、道央ブロックの審判活動とインストラクター活動を活性化できるよう努めていきたいと考えております。また、各地区の審判員が交流できる場を設定しレフリング技術の向上や競技規則の理解を深める研修を企画していきたいと思っております。

最後になりましたが、研修会を行わせていただいた小樽地区サッカー協会の皆様、大会運営をしていただいた社会人連盟の皆様に感謝申し上げます。

